

第七十三回
帝國議會
貴族院

日滿司法事務共助法案特別委員會會議事速記録第三號

昭和十三年二月十日(木曜日)午前十一時
五十一分開會

○委員長(公爵岩倉具榮君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス、日滿司法事務共助法ニ付テ外ニ御質問ハゴザイマセスカ

○林頼三郎君 念ノ爲御質問ヲ致スノデスガ、第一條ニハ「裁判所又ハ検事局ハ滿洲國ノ法院又ハ檢察廳ノ囑託ニ因リ」トナツテ居リマスケレドモ、此ノ意味ハ裁判所ト法院、検事局ト檢察廳、即チ裁判機關相互間、檢察機關相互間ニ於テ共助ヲ爲スト云フ意味デアツテ、裁判機關カラ檢察機關ニ、若シクハ檢察機關カラ裁判機關ニ共助ヲスルト云フコトハ認メナイ趣意ノヤウニ思ハレルノデアリマスガ、サウ云フ意味デアリマセウカ、ソレヲ確實ニ致シテ置キタイと思ヒマス、如何デゴザイマスカ

○政府委員(松阪廣政君) 全ク御説ノ通り「裁判所又ハ検事局ハ滿洲國ノ法院又ハ檢察廳ノ囑託ニ因リ」ト書キマシタノハ、裁判所ハ滿洲國ノ法院ノ囑託ニ因ル、検事局ハ檢察廳ノ囑託ニ因ルト云フ意味デゴザイマシテ、檢察機關ト裁判機關トハ全ク別個獨立ノ機關デアリマスカラ、裁判所ト檢察廳、或ハ法院ト検事局ト云フヤウナ間ニハ、固ヨリ司法事務ノ共助ハ致サナイ趣旨デゴザイマス

○林頼三郎君 尙念ノ爲御尋ネ致スノデアリマスガ、滿洲國刑事訴訟法ニ依リマス、百二十三條デアルトカ或ハ現行犯ノヤウナ、日本ノ檢事ニ於テ勾引狀ヲ出シ得ル場合ニハ、勿論其ノ規定ニ依リマシテ滿洲國ノ囑託ニ應ズルノデアリマスガ、若シ日本ノ檢事ニ於テ其ノ囑託ニ應ジラレナイ、日本ノ刑事訴訟法上其ノ實施ガ出來ナイヤウナ場合ニハ、第六條ノ所謂強制處分ニ依リマシテ、其ノ檢事ノ所屬區裁判所ノ判事ニ勾引狀ノ發付ヲ求ムルト云フコトニ依ツテ、滿洲國ノ囑託ニ應ズル考デアリマス

○政府委員(松阪廣政君) 仰セノ通り滿洲國ノ刑事訴訟法ニ於キマシテハ、檢察官ハ、非常ニ日本ノ刑事訴訟法ニ於テ日本ノ檢事ニ與ヘラレテ居ルヨリモ廣範圍ノ勾引權ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、從ツテ向フノ檢察官ガ勾引ノ必要アリトシテ、日本ヘ勾引ノ囑託ガアリマシタル場合ニ、日本ノ檢事ハ、我が國ノ國法ニ從ツテ此ノ囑託ヲ實施スル譯デアリマスカラ、我が國法上實施シ得ラレナイ場合ガアル、所謂日本ノ法律上ニ許サナイ場合ガアルノデアリマス、百二十三條デアルトカ或ハ現行犯ノヤウナ、日本ノ檢事ニ於テ勾引狀ヲ出シ得ル場合ニハ、勿論其ノ規定ニ依リマシテ滿洲國ノ囑託ニ應ズルノデアリマスガ、若シ日本ノ檢事ニ於テ其ノ囑託ニ應ジラレナイ、日本ノ刑事訴訟法上其ノ實施ガ出來ナイヤウナ場合ニハ、第六條ノ所謂強制處分ニ依リマシテ、其ノ檢事ノ所屬區裁判所ノ判事ニ勾引狀ノ發付ヲ求ムルト云フコトニ依ツテ、滿洲國ノ囑託ニ應ズル考デアリマス

○林頼三郎君 本委員會ノ第一回カニ政府委員ノ答ヘラルタ所ニ依リマス、今ノヤウナ場合ニハ、法律上許スベカラザルモノトシテ、第二條ノ適用ガアルヤウニモ解セラレルヤウナ御答ガアツタノデアリマセガ、サウ云フ意味デハナカッタノデアリマセウカ

○政府委員(松阪廣政君) 第一回ノ答辯ノ際ニ、勾引狀ト申上ゲタスト私ノ言ヒ間違ヒデアリマシテ、實ハ勾留狀ノ積リデゴザイマシタ、勾留狀デゴザイマスルト、是ハ日本ノ刑事訴訟法ニ依リマシテ檢事ノ發シ得ル場合ハ非常ニ限定セラレテ居リマスルガ、滿洲國ノ刑事訴訟法ニ依リマス、是亦廣イ範圍ノ勾留權ヲ檢察官ガ持ツテ居リマス、其ノ場合ニ、向フノ勾留狀ノ囑託ガアツタト云フ場合ニハ、日本ノ刑事訴訟法竝日滿司法事務共助法ニ依ツテ勾留狀ノ囑託ニ應ズル規定ガナイノデアリマスカラ、此ノ場合ガ所謂法律上ノ許スベカラザルモノニ該當致シマス、左様ナ勾留狀ノ囑託ノ執行ハ共助ノ實施ヲ致サナイ、共助ニ應ジナイト云フコトニナルノデアリマス

○林頼三郎君 第六條ノ規定ニ依リマス「檢事共助ヲ爲スニ付必要アルトキハ」トアリマスノデ、檢事ノ共助ハ主トシテ犯罪捜査ニ付テ行ハレルモノト存ジマスシ、又本條ニ規定シテアル押収、搜索、檢證、被疑者若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分云々ト云フコトハ、犯罪捜査ニ付テノ囑託ガアツタ場合ノ共助ノ適用ガアルモノデアルコトハ勿論ト思ヒマスガ、分離的ニ見マスと云フト、被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ト云フコトモ、又犯罪捜査ノ囑託ガアツタ場合ノ共助行為ノ一ツトシテナサル、ヤウニ解釋セ

ラレルノデアリマスガ、サウナリマス云フト、其ノ事柄ハ甚ダ不當デアリ、無意味デアルト云フ非難ヲ醸シマス、又一般ニ甚ダシク不安ヲ感ゼシメルノデアリマスガ、段々ノ御説明ニ依リマス、第六條ニ「被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付」トアリマスノハ、勾引狀發付ニ付テノ特別ノ囑託ガアッタ場合ノ規定デアッテ、一般犯罪捜査ノ囑託ガアッタ場合ニハ適用ガナイモノデアルト云フヤウニ諒解シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(松阪廣政君)

本條ヲ設ケマシタ趣旨ハ誠ニ御説ノ通りデアリマシテ、被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付又ハ執行ハ、廣イ意味ニ於テ固ヨリ犯罪ノ捜査ニ屬スルノデアリマスガ、事人權ニ關シマスルノデ、犯罪ノ捜査ノ中カラ更ニ第四號ニ別ニシマシテ、被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付又ハ執行ト云フコトヲ掲ゲテ置イタノデアリマシテ、特ニ是ノ共助ヲスル、勾留狀ハ之ヲ致サナイト云フ趣旨ヲ明カニシタノデアリマスガ、第六條ニ關シマスル條文上ノ分離上ノ御疑念ガゴザイマスルヤウデアリマスガ、本條ニ掲ゲテアリマスル所ノ被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ノ請求ト云フコトハ、滿洲國ノ檢察官カラ我が國ノ檢事ニ對シテ勾引狀ノ發付ノ囑託ガアッタ場合ニ限ルノ

デアリマスルガ、分離上サウデナイ、或ハ犯罪ノ捜査ノ囑託ノアッタ場合ニ於テモナサレハセヌカト云フ點ガ最モ御疑念ノヤウニ拜承スルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ前回モ申上ゲマシタガ、第六條ニ謂フ勾引狀ノ發付ト云フノハ、勾引狀ノ發付ノ囑託ヲ滿洲國カラ受ケタ場合ノミヲ指スノデアッテ、其ノ場合ニノミ活用致スノデアリマシテ、犯罪ノ捜査ノ囑託ガアッタ場合、即チ囑託ニ依リマシテ檢事ガ捜査ヲスル場合ニソレハ適用シナイ、是ハ理論上、又ハ條理上ヨリモ左様ニ當然解スベキモノデアルト、私共ハ解釋致シテ居ルノデアリマス、勾引狀ノ發布ノ請求ハ先程申ス通り滿洲國ノ囑託ニ依ル場合ニ、時ニ依ルト日本ノ檢事デハ發シ得ナイ、不可能ナル場合ガアルノデアリマス、左様ナ場合ニハ尙此ノ向フカラ單ニ捜査ノ囑託ガアッタ場合ニ、日本ノ檢事ガ日本ノ檢事總長ニ依ッテ勾引狀ヲ發付スルト云フヤウナコトハ、實際ハ致サナイノデアリマシテ、勾引狀ノ性質カラ申シマシテモ、勾引狀ト申スモノハ、要スルニ訊問ノ爲ニ必要ナル場合ニ、本人ガ内地ヘ或ハ逃亡ノ虞アル場合ニ訊問ヲ完ウセムガ爲ノ前提要件トシテ爲スモノデアリマス、從ッテ日本ノ檢事ガ訊問權ガナイ

場合ニ、勾引狀ダケヲ出シテ貰フト云フコトハ意味ヲ成サヌノデアリマス、事實ニ百五十五條ニ依リマシテモ、左様ナ勾引狀ノミヲ判事ニ請求スルト云フコトハ許サレテ居ラスノデアリマス、左様ナ譯デアリマスルカラ此ノ趣旨モ固ヨリ、第六條ニ掲ゲマシタル勾引狀ノ趣旨モ、滿洲國カラ日本ノ檢事ニ對シテ勾引狀ノ發付ノ囑託ガアッタ場合ニノミ活用スルト云フ意味デゴザイマシテ、日本ノ檢事ガ捜査ノ囑託ヲ受ケタ場合ニ、其ノ捜査ノ便宜カラ、日本ノ檢事ガ判事ニ勾引狀ヲ出シテ貰ッテ、ヤルト云フヤウナコトハ固ヨリ豫期シテ居ナイノデアリマス、左様ナ趣旨ト御諒承ヲ願ヒタイと思ヒマス

○林賴三郎君

一般ノ犯罪捜査ノ囑託ガアッタ場合ニハ、第二條ニ定メテアル法律上許スベカラザルモノデアアル、公益ヲ害スル虞アルモノデアルトカ、斯ウ云フヤウナ場合デナケレバ之ヲ拒ムコトガ出來ナイノデアアルケレドモ、勾引狀發付ノ囑託ノ場合ニハ、第三條ニ依リマシテ單ニ之ヲ不相當ト認メレバ拒絕シテ宜シイ、斯ウ云フコトニ見エルノデスガ、サウ理解シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(松阪廣政君)

御説ノ通り勾引

狀ニ付キマシテハ第二條ニ依ル法律上許スベカラザルモノナルトキ、ソレカラ公益ヲ害スル虞アルトキノ外ニ、尙一ツ不相當ナル場合ニモ之ヲ爲サザルコトガ出來ルノデゴザイマシテ、其ノ通りデゴザイマス

○林賴三郎君

尙念ノ爲御尋ネ致シテ置キマスガ、滿洲國カラ勾引狀發付ノ囑託ヲ日本人ニ對シテ爲ス場合ハ、日本人ガ滿洲國內デ罪ヲ犯シタリ、又ハ滿洲國刑法第四條及ビ第六條ニ定メテ罪ヲ犯シタ場合ノミニ適用ガ起ルノデアリマス、從ッテ極メテ限ラレタル場合ニ止ルノデアリマシテ、其ノ他ノ場合ニハ絕對ニ勾引狀發付ノ囑託ノアル筈ガナイ、又若シ囑託ガアッテモ、之ニ應ズル筈ハナイト思ヒマスガ、政府ノ所見ハ如何デアリマセウカ

○政府委員(松阪廣政君)

御説ノ通り日本ノ内地ニ居リマスル日本人ニ對シテ、突然滿洲國カラ勾引狀ノ發付或ハ執行ノ囑託ガアリマスル場合ニハ、所謂不相當ナルモノト通常解スルノデアリマシテ、其ノ理由ハ御承知ノ通り犯罪引渡シニ付キマシテハ、自國人ヲ引渡サザルコトヲ以テ原則ト致シテ居ルノデアリマシテ、原則ト致シマシテハ自國人ヲ引渡スト云フコトハ、ソレハ不相當デアルト解釋スルノガ妥當デアアル、唯

自國人デアリマスガ、滿洲國ニ居住シ、滿洲國デ犯罪ヲ犯シタ者ガ内地ヘ歸ッテ來テ、詰リ滿洲國ヲ逃亡シテ内地ヘ歸ッテ來タト云フヤウナ場合ニハ、其ノ者ニ對シテ勾引狀ノ發付ノ執行、或ハ其ノ發付並執行ノ囑託ニ應ジマスルコトガ、滿洲國ト同時ニ日本國ノ治安維持カラモ亦妥當デアラウ、必要デアラウト考ヘマスノデ、サウ云フ場合ニハ無論自國人ト雖モ引渡ニ應ズルノデアリマスガ、不相當ト云フ意味ハ、我々ハ左様ニ解釋ヲシ運用ヲ致ス考デ居リマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○内田重成君 只今ノ林委員トノ御問答ニ依ッテ、極メテ明瞭ニ相分ツタ點ガ多數ニアリマスルガ、私ハ此ノ第十條ノ關係ニ於テ一言承ッテ置キタイト思フ、先程第一條ノ裁判所及ビ檢事局ノ共助關係ニ付テ御説明ノアリマシタ所ニ依ッテ、此ノ十條ト對照シテ見マスル場合ニ、檢事局ニ滿洲國ノ檢察廳ヨリ囑託ヲシタル場合ニ、其ノ檢事局ガ權限ヲ有シナイト云フ場合ニ於テハ、之ヲ受託ノ權限アル官廳ニ移送スル規定ニ依ッテ、檢事局ヨリ裁判所ニ移送シ得ルモノト解釋シ得ルト考ヘマスガ、如何デアリマスカ

○政府委員(松阪廣政君) 御尋ノヤウナ趣旨デハナイノデゴザイマシテ、第一條ニ依リマシテモ明カナル如ク、裁判所ハ法院ノ囑託ニ因リ、又檢事局ハ檢察廳ノ囑託ニ因ッテ、此ノ司法事務ニ共助ヲ致スノデアリマシテ、從ッテ、法院カラ檢事局ニ……裁判所ノ共助スベキコトヲ先方ノ法院、又ハ檢察廳カラ内地ノ檢事局ニ囑託ガアリマシタル場合ニ、檢事ガソレヲ裁判所ノ方ヘ送ルト云フコトハ固ヨリ致サナイノデアリマシテ、第十條ニ謂フ受託官廳受託事項ノ權限ヲ有セザルトキ、先方ノ法院カラ我が裁判所ガ囑託ヲ受ケタ場合ニ其ノ裁判所ガ土地管轄關係等ニ依ッテ權限アル裁判所ニ囑託ヲ地管轄等ニ依ッテ權限アル裁判所ニ囑託ヲ移送スルト云フコトニ考ヘテ居リマスルノデ、第十條ハ裁判所ト裁判所トノ間、法院ト裁判所トノ間、又檢察廳ト檢事局トノ間ニ於ケル適用ヲ見ルモノト解釋ヲ致シテ居ルノデアリマス

○内田重成君 サウ致シマスルト十條ノ關係ハ、第一條ノ第二項ノ土地管轄ダケニ付テノハ規定ト考ヘテ、解釋スベキモノデアルト考ヘテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(松阪廣政君) 專ラ土地管轄ダケデアルト存ジマス

○内田重成君 十條カラノ規定ノ解釋上、之ヲ單ニ土地管轄ニノミ制限サレタルモノデアルト云フ風ニ解釋スルコトハ、非常ニ是ハ文字ノ上カラ困難デアルト考ヘルノデアリマス、尤モ左様ニ考ヘザル曉ニ於テハ、只今マデ御説明ニナツタ此ノ六條ノ勾引狀發布ニ付テノ關係等ニ於テモ、頗ル矛盾ヲ生ズルヤウナ虞ガアリマス爲ニハ、只今御解釋ニナツタヤウニ狹ク是ハ解釋スベキモノデアルヤウニモ感ズルノデアリマスガ、私ハ用語ノ上ニ於テ、是ハ餘リ用語ガ廣過ぎハセヌカト云フ感ジヲ持ツノデアリマシタガ、是デ適當ニサウ云フ風ノ解釋ガ一般ニ出來ルモノト云フ政府ニ於テハ御考ヲ有セラレルトデアリマスカ

○政府委員(松阪廣政君) 此ノ用語ニ付キマシテハ刑事訴訟法ニモ同様ノ用語ガアリマス、同様ノ解釋ヲ致シテ居リマスノデ、用語上ノ紛糾ハナキモノト考ヘテ居リマス、刑事訴訟法百五十四條ノ第二項、第三項ニ規定ガゴザイマス、二百十二條ノ第二項第三項ニモ規定ガゴザイマス

○内田重成君 刑事訴訟法ノ規定ハ私ハモウ少シ只今ノ御説明ヨリ廣イト思ッテ居リマス、併シ此ノ點ニ對スル所ノ御尋ネハ政府ノ御意嚮ガ分リマシタ、其ノコトガ明瞭

ニ相成ッテ居リマスレバ私ノ御尋ネハ是デ止メマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 外ニ御質問ゴザイマセヌカ、御質問ガナケレバ質問ヲ打切りマシテ討論ニ入リマス

○林賴三郎君 私ハ此ノ法案ハ日滿兩國ノ不可分のナル特殊ノ關係ニ鑑ミマシテ、殊ニ滿洲國ノ法律ハ大體日本ノ法律ヲ模範トシテ、主トシテ日本人ノ手ニ依ッテ起草サレタノデアリマスシ、又滿洲國ノ司法機關ハ日本人ガ多數ニ其ノ職員ニ任用セラレマシテ、大體日本ニ於テ指導致シテ居ルヤウナ實情デアリマスコトヲ考ヘマス、斯ウ云フ廣キ範圍ニ於テ共助致スト云フコトハ相當デアラウト存ズルノデアリマス、又此ノ事項ノ執行手續ニ付テモ、大體ニ於テ支障ナイト思ヒマシテ、此ノ法案ニ付テ賛成ヲ致スモノデアリマスガ、唯第六條ニ付キマシテハ政府當局ノ眞意ノ存スル所ガ法文ニ現レテ居ラヌノデアリマス、此ノ法文ニ依ッテ解釋致シマス、第六條ハ檢事ガ一般ノ犯罪搜查ノ囑託ヲ受ケタル場合ニ於テ押収、搜索、檢證、被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付斯クノコトヲ判事ニ請求スルコトガ出來ルヤウニ解釋セラレルトデアリマス、政府ノ説明サレルヤウ

ニ勾引狀發付ニ付テ特ニ囑託ガアツク場合
ノミニ被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ト云フ
モノガ適用サレルト云フコトニハ、文意上
ハドウシテモ解釋出來ナイ、ソレハ初メノ
書キ出シニ「檢事共助ヲ爲スニ付必要アルト
キ」トアツテ、廣クナツテ居リマス、ソレカラ
被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ト云フ言葉ノ
前ノ部分、後ノ部分、是ハ何レモ一般ノ犯
罪捜査ノ共助ガアツク場合ノ規定デアリマ
スカラ、其ノ真中ニアル事柄ダケガ、サウ
デナクシテ勾引狀發付ノ特別ノ囑託ガアツ
ク場合デアルト云フコトニハ解釋スルコト
ハ出來ヌノデアリマシテ、ソレハ非常ニ無
理デアラウト思ヒマス、而シテ若シサウ云
フ廣イ意味ニ解釋スルコトニナレバ、是ハ
實質ニ於テモ不當デアル、又世人ヲシテ非
常ナ不安ヲ感ゼシメルト云フコトデアリマ
スノデ、是ハドウシテモ政府原案ノ趣意ヲ
明カニスルヤウニ致ス方ガ立法トシテ適當
デアラウト考ヘマス、ソレデ私ハ第六條ニ
付テハ修正ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマ
シテ、茲ニ修正案ヲ提出致シタイト存ジマ
ス、第六條「檢事犯罪ノ捜査ノ共助ヲ爲ス
ニ付強制ノ處分ヲ必要トスルトキハ押收、
搜索、檢證、被疑者若ハ證人ノ訊問又ハ鑑
定ノ處分ヲ其ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求

スルコトヲ得」ソレカラ第二項ニ「檢事被疑者
ニ對スル勾引狀ノ發付ノ共助ヲ爲スニ付必
要アルトキハ其ノ處分ヲ其ノ所屬區裁判所
ノ判事ニ請求スルコトヲ得」ソレカラ第三項
トシテ是ハ右ノ修正ノ結果字句ヲ直スコト
ニナルノデアリマスガ、「前二項ノ規定ニ依
ル請求ヲ受ケタル判事ハ其ノ處分ニ關シ豫
審判事同一ノ權ヲ有ス」ソレカラ末項ハ矢
張り第一項ヲ修正シタ結果文字ヲ直スニ止
マルノデアリマスガ、「判事本條ノ處分ヲ爲
シタルトキハ速ニ之ニ關スル書類及證據物
ヲ檢事ニ送付スベシ」右ノヤウニ條文ヲ修
正致シマス、政府原案ノ意味ガ明瞭ニナ
ルト存ジマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 只今ノ林委員
ノ修正動議ニ御賛成ノ方ガゴザイマスカ
○子爵富小路隆直君 チョット此ノ際一言
述べサセテ戴キタイト思ヒマス、先日モ或
委員モ御述ベニナリマシタヤウニ近頃法文
ノ書キ方ガ非常ニ巧妙デアツテ、一般ノ人ニ
ハドウモ其ノ意味ガ分ラナイ、或ハ起草者
デナケレバ其ノ本當ノ意味ガ分ラナイヤウ
ナモノガドウカスルト出テ來ルノデアリマ
ス、斯ウ云フコトハ一般ノ國民ノ不安ヲ懷
ク基トナルノデハナイカト私ハ思フノデア
リマス、又モウ一ツニハ法律ノ運用ニ付

テ非常ニ不安ヲ懷クノデアリマシテ、近頃
ノヤウニ種々ノ人權蹂躪ノ問題ガ起ツテ居
ルコトデアリマシテ、又サウ云フ聲ガ非常
ニ世ノ中ニ多イノデアリマス、サウデアリ
マスカラシテ尙更此ノ法文ナドニ付テモ亦
運用ニ付テハ非常ニ注意ヲシナケレバナラ
ヌト私ハ思フノデアリマス、幸ニシテ此ノ
法案ガ成立致シマシテ、他日公布、施行ニ
ナリマシタ曉ニ於テハ、當局者ニ於カレマ
シテハ其ノ運用ニ付テ十分ニ御注意アツテ、
正シク運用サレムコトヲ希望シマシテ只今
ノ林委員ノ御修正ニ賛成ヲ致シマスト共ニ
殘餘ノ部分ニ付キマシテモ勿論賛成ヲ致シ
マス

○委員長(公爵岩倉具榮君) ソレデハ此ノ
修正案ヲ附ケマシテ、全條項ノ採決ヲ致シ
マス、之ヲ修正可決スルコトニ御異議ハゴ
ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵岩倉具榮君) ソレデハ之ヲ
修正可決スルコトニ致シマス、本日ハ此ノ程
度ニシテ延會致シマシテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵岩倉具榮君) ソレデハ是ニ
テ散會致シマス

午後零時二十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公爵岩倉 具榮君
副委員長 子爵富小路隆直君
委員

林 頼三郎君
内田 重成君
男爵本多 政樹君
男爵渡邊 修二君
小坂 順造君
瀧川 儀作君
光永 星郎君
政府委員
司法省民事局長 大森 洪太君
司法省刑事局長 松阪 廣政君
司法省調查部長 井上 登君
司法書記官 齋藤 直一君